

◇◇ ふるさとを愛し、ふるさとの人々からも愛される子どもたちの育成 ◇◇

ニコニコ
キラキラ
グングン

東小だより

令和元年
7月10日
No. 5

自然災害に備える

校長 折出美保子

7月に入り、いよいよ学期のまとめの時期になりました。昨年に比べて、暑さは少し抑え気味ですが、梅雨入りも遅く天候の不安定さが続いています。昨年のちょうどこの時期に、西日本豪雨災害のととても悲しいニュースを聞いたことを思い出します。台風の発生も年々早まり、ピンポイントで突然大雨が降るなどということも頻繁に繰り返されています。避難勧告等の指示内容も新しくなり、より早めの避難をとという報道も盛んに行われています。登下校の安全等について学校でも指導はしますが、ご家庭でもしっかり話をしていただき、自分の身は自分で守るという意識を高めていきたいものです。今後何かあったときには、緊急メールやプリントなどでお知らせしますが、場所によって状況が多少違う場合がありますので、危険を感じられたときにはご家庭の判断で、登校を見合わせ等の対応をよろしくお願いいたします。また、そういった際には、学校にご一報をよろしくお願いいたします。

PTA学年活動

恒例のPTA主催学年活動が始まりました。今年度は、子どもたちの学習の場で保護者も一緒に活動するという内容です。まずは、3年生が6月21日（金）に交通安全教室を一緒に行いました。そして、7月5日（金）には、5年生が家庭科の裁縫の学習を一緒に行いました。どちらもとても熱心に取り組み、大変充実した時間になったようです。他の学年もどんな活動になるか楽しみです。



ゲームのやり過ぎに注意！

世界保健機構(WHO)は、昨年6月に、パソコンやスマートフォンなどを利用したゲームへの過度な依存によって支障をきたす症状を、「ゲーム障害」という病気として認定したと発表しました。持続的あるいは反復的にゲームを行うことが問題視され、ゲームを行いたいという衝動が抑えられない。日常生活の何よりもゲームを優先する。仕事や学業、健康等に支障をきたしてもゲームがやめられず、重大な問題が生じるといった症状が見られるそうです。また、ある調査では、朝起きられない。欠席や欠勤。食事をしない。成績や仕事の能率の低下。さらに、ものを壊す。家族に対する暴力。家族のお金を盗むなどの状況も見られ、ゲーム依存による多くの患者が、日常生活に支障をきたしたり、暴力行為につながったりするケースもあるようです。ぜひ、ご家庭でゲームについて見直し、ゲームをする時間などのルールをきちんと決めて、ゲームに依存することのないように気をつけたいものです。